

# 『ユニオンファンド』

## 第5期 運用報告書 (決算日 2013年9月30日)

〔 2012年10月2日から  
2013年9月30日まで 〕

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式 ファンド・オブ・ファンズ
信託期間	原則として無期限
運用方針	個人家計の「資産形成」を支援する目的で、 「期待収益率が高い」と思われる資産に積極 投資をします。
主要運用対象	国内外の株式を投資対象とする投資信託証 券を投資対象とします。
組入制限	①投資信託証券への投資割合には制限を 設けません。 ②同一銘柄の投資信託証券への投資割合 には制限を設けません。 ③外貨建資産への投資には制限を設けま せん。 ④株式への直接投資は行いません。 ⑤デリバティブの直接利用は行いません。
分配方針	毎決算時、収益分配方針に基づいて分配 を行います。分配金額は、委託会社が基準 価額水準、市況動向等を勘案し決定しま す。ただし、委託会社の判断により分配を行 わないことがあります。

### 受益者のみなさまへ…

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ご購入いただいております『ユニオン  
ファンド』は、2013年9月30日に第5期の決  
算を行いました。ここに期中の運用状況をご報  
告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお  
願い申し上げます。

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

**ユニオン投信株式会社**  
業務管理部/コンプライアンス室  
TEL : 0263-38-0725

受付時間：営業日の午前9時～午後5時  
ホームページ：<http://www.unionam.co.jp/>



Union Asset Management Inc.  
**ユニオン投信株式会社**

〒390-0815  
長野県松本市深志一丁目1番21号  
中田歯科ビル5F

## ■設定以来の運用実績

決 算 期	基準価額 (分配落)	税 込	期 中	投資証券・ 投資信託証券 組入比率	純資産 総 額
		分配金	騰落率		
(設 定 日) 2008年10月20日	円 10,000	円 —	% —	% —	百万円 108
1期 (2009年 9月30日)	12,567	0	25.7	93.5	480
2期 (2010年 9月30日)	13,160	0	4.7	97.0	865
3期 (2011年 9月30日)	11,038	0	△16.1	97.1	972
4期 (2012年10月 1日)	12,529	0	13.5	89.4	1,391
5期 (2013年 9月30日)	17,852	0	42.5	85.5	2,193

(注1) 基準価額は1万口当たり。騰落率は前期末比。

(注2) 当ファンドの運用方針に適切なベンチマーク (参考指数) が存在しないため、上記には市況を併記してありません。

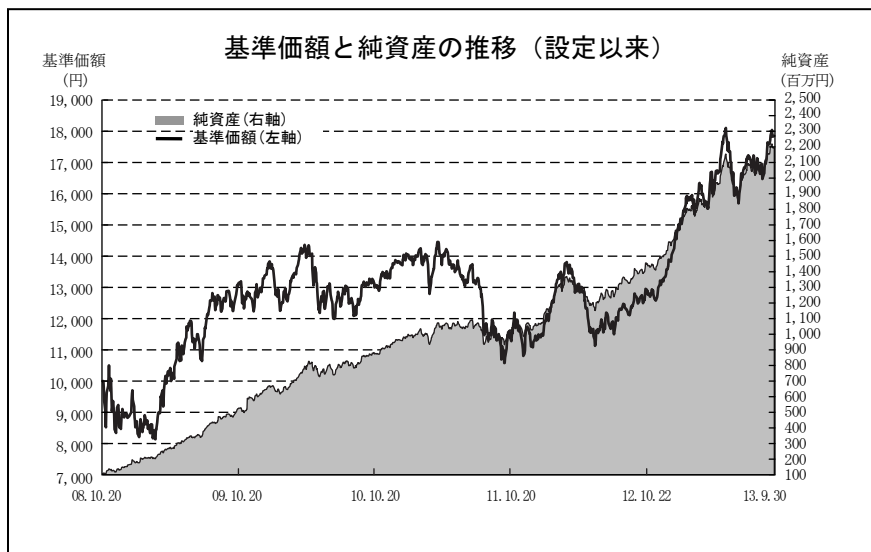
## ■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額		投資証券・ 投資信託証券 組入比率	純資産総額
	騰 落 率			
(期 首) 2012年10月 1日	円 12,529	% —	% 89.4	百万円 1,391
10月末	12,702	1.4	88.4	1,429
11月末	13,132	4.8	88.0	1,491
12月末	14,045	12.1	89.2	1,589
2013年 1月末	15,520	23.9	90.1	1,760
2月末	15,331	22.4	89.2	1,755
3月末	15,742	25.6	87.5	1,844
4月末	16,747	33.7	87.9	1,972
5月末	17,339	38.4	87.2	2,067
6月末	16,005	27.7	85.6	1,923
7月末	16,840	34.4	85.5	2,043
8月末	16,513	31.8	84.6	2,019
(期 末) 2013年 9月30日	17,852	42.5	85.5	2,193

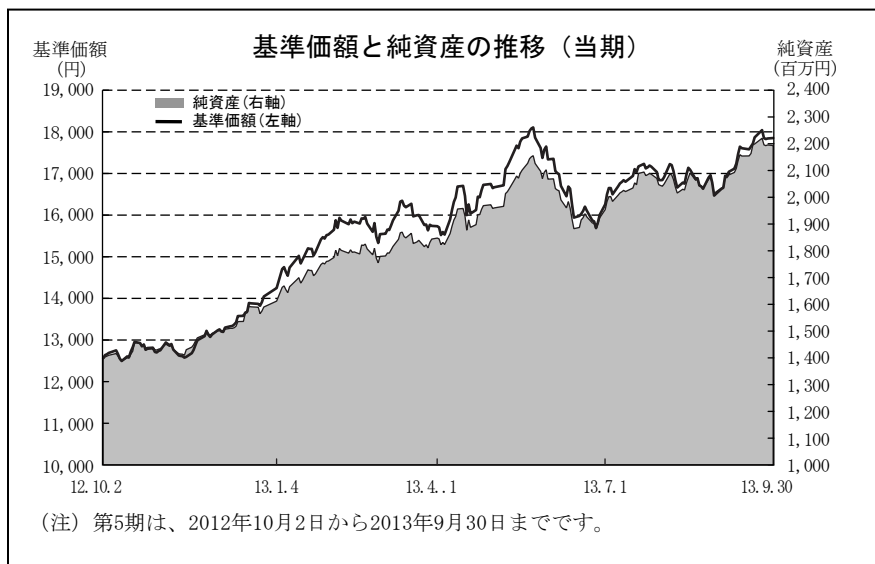
(注1) 基準価額は1万口当たり。騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドの運用方針に適切なベンチマーク (参考指数) が存在しないため、上記には市況を併記してありません。

## ■設定以来の運用状況



## ■当期の運用状況



## ■ファンドの基本運用方針

当ファンドは個人家計の「資産形成」を支援する目的で、以下の方針により「期待収益率が高い」と思われる資産に積極投資します。

- ①「株式」に特化します。
  - ・長期投資では「株式」が債券を上回るパフォーマンスをあげており、今後も長期的には「株式」の収益率が債券収益率を凌駕するものと考えます。
- ②「グローバル」な視点で投資します。
  - ・「グローバル」に投資することで、世界の経済成長を享受することができると考えます。
- ③実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します。
  - ・長期間にわたりインデックスを上回る「アクティブ」ファンドが少数ですが世界に点在します。
  - ・投資に当っては、「長期投資」の考え方が確立・実践されており、相対的パフォーマンスが良好なファンドを厳選します。
- ④「バイ&ホールド」を基本としますが、割高時には現金比率を高め、割安時での買い増しにも備えます。

## ■当期の運用環境

- (1) 2012年10月～2013年5月：株価は米国・日本のリードで一本調子の上昇
  - ・米国・・・金融当局の超金融緩和のもとで雇用・住宅・自動車の回復が進み、またシェールガス革命への期待も高まり、株価は順調に上昇
  - ・欧州・・・ギリシャ・イタリア・キプロス問題など南欧問題をこなす中で、景気回復への期待から株価は米国に追随して上昇
  - ・日本・・・アベノミクスがスタートし、「日銀異次元緩和」「大型補正」「円安」などにより企業業績が大幅改善。「財政健全化」への期待も高まり外国人の大量買いなどで株価急騰
  - ・中国・・・景気低迷・企業決算不芳・地方政府債務問題などの悪材料の反面、新政権による市場改革への期待もあり株価は低水準横ばいで推移
- (2) 2013年6月～2013年9月：株価は回復するも高値圏での上値の重い展開
  - ・米国・・・金融当局の「超金融緩和縮小」発言により金利が上昇し、住宅市場に悪影響。株価は揉み合い局面に
  - ・欧州・・・景気がわずかながらもプラス局面に入り、株価を下支え
  - ・日本・・・米国超金融緩和縮小発言をきっかけに海外投資家の利益確定売りが膨らみ大幅反動安。その後は東京五輪決定・財政拡大などが押し上げ材料となり株価は戻り基調
  - ・新興国・・・景気足踏みのなかで先進国資金が流出し、通貨防衛・物価抑制の観点から各国で利上げが続き、株価も横ばい圏で推移
  - ・中東・・・エジプト・シリアの政治混乱が株価に悪影響

## ■当期の運用状況

当期は42.5%の運用実績となりました。

各市場の当期収益率は次の通りです。

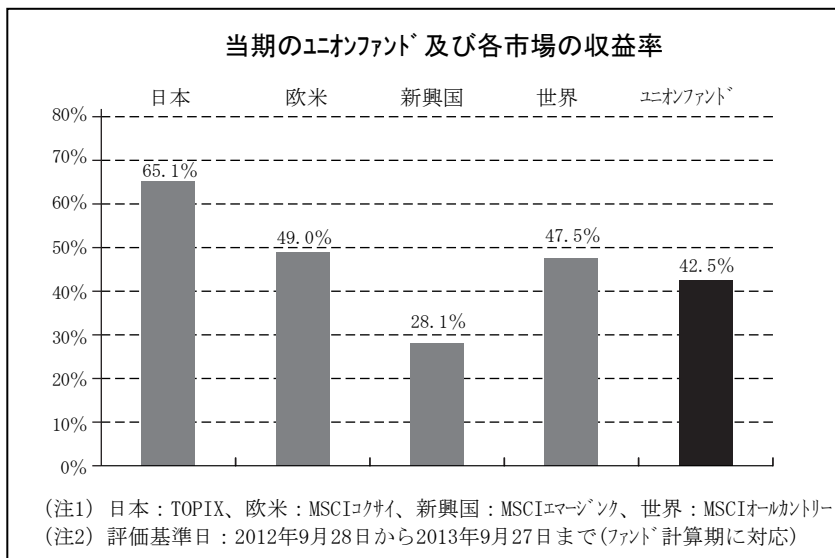
日本市場 (TOPIX) : 65.1%、  
欧米市場 (MSCI コクサイ) : 円ベース 49.0%  
新興国市場 (MSCI エマージング) : 円ベース 28.1%  
世界市場 (MSCI オールカントリー) : 円ベース 47.5%  
円ドル相場 : 25.4%  
(ユニオンファンドでは為替ヘッジをしていません)

期末現在の地域別「組入比率」及び「時価総額比率」は次の通りです。

「組入比率」 : 日本 12%、欧米 34%、新興国 39%、キャッシュ 15%  
「時価総額比率」 : 日本 7%、欧米 62%、新興国 31%

当期の市場別実績は、日本市場がアベノミクス効果で一番となり、欧米市場が次に続きました。ユニオンファンドが注力している新興国市場は残念ながら低調な伸びに終わりました。

ユニオンファンドの実績が世界市場を下回ったのは、新興国の組入比率を高めに行っていることが要因と言えます。

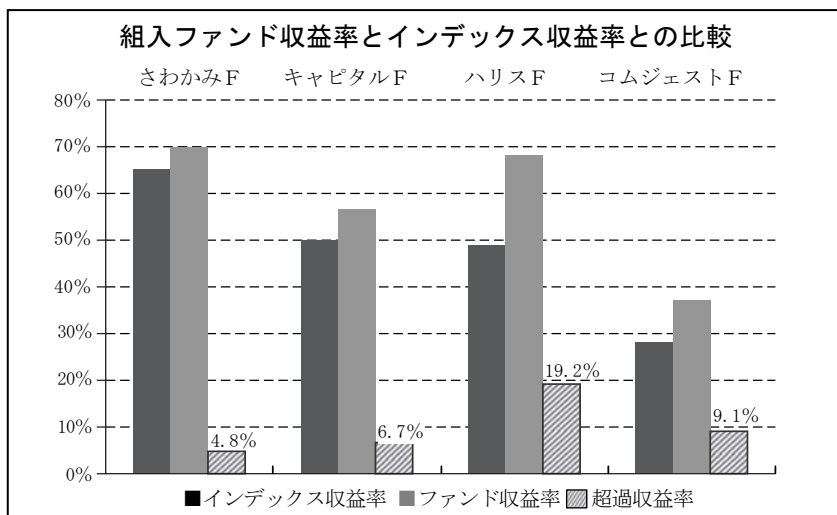


一方、組入ファンドとインデックスとの収益率比較では、4 ファンドともインデックスを凌駕しました。

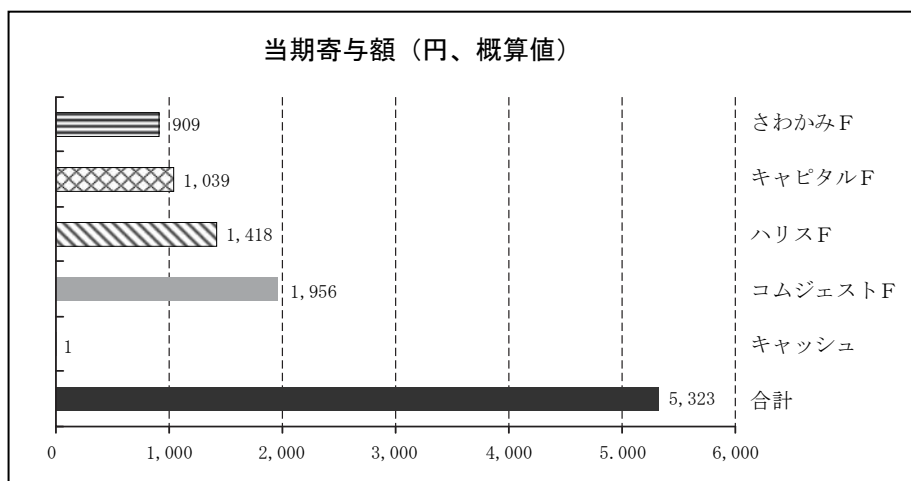
なかでも「ハリスF」の好調さが目立っています（超過収益率 19.2%）。また低調な新興国市場にあって「コムジエストF」も善戦しています（同 9.1%）。

期末現在のファンド別「組入比率」：

・・・さわかみF 12.0%、キャピタルF 15.5%、ハリスF 19.0%、コムジエストF 39.0%



組入ファンド別の当期の基準価額寄与額は次のグラフの通りです。



組入比率は徐々に低下しました。

- ・ 期末の組入比率は「85.5%」となり、期初の組入比率「89.4%」に比べ「3.9%」低下しました。
- ・ 低下した主な要因は次の通りです。
  - ① 将来の収益に比べ株価が割高になっていると判断し、通期にわたり新規買付を行わなかったこと。
  - ② 基準価額の上昇もあり利益確定の解約増加に備えたこと。

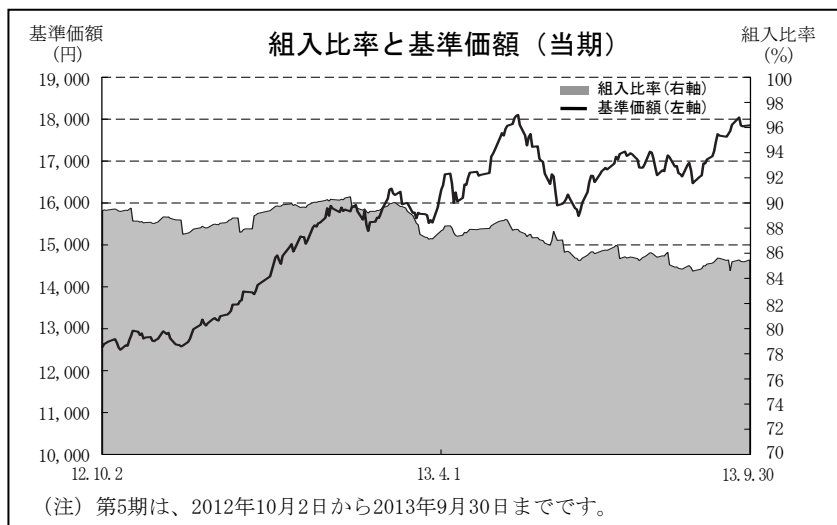
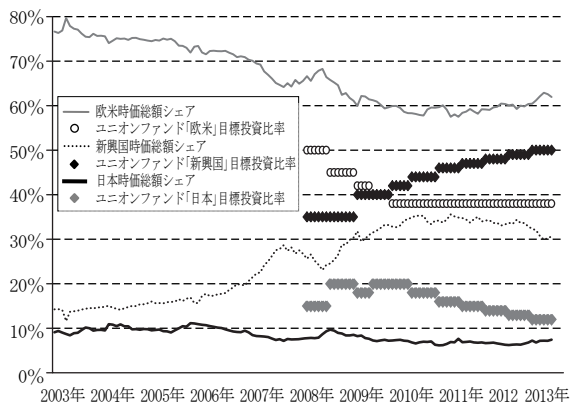


図1 世界の「時価総額シェア」とユニオンファンドの「目標投資比率」



(出所) 「時価総額シェア」：ユニオン投信株式会社調べ

表1 組入ファンドと組入比率 (2013年9月30日現在)

組入ファンド	地域	組入比率	目標投資比率	目標比
さわかみF	日本	12.0%	12%	0.0%
キャピタルF	欧米	15.5%	18%	-2.5%
ハリスF	欧米	19.0%	20%	-1.0%
コムジェストF	新興国	39.0%	50%	-11.0%
キャッシュ	—	14.5%	—	—
合計		100%	100%	

図2 組入ファンドの基準価額推移 (2008.10.20=10,000)

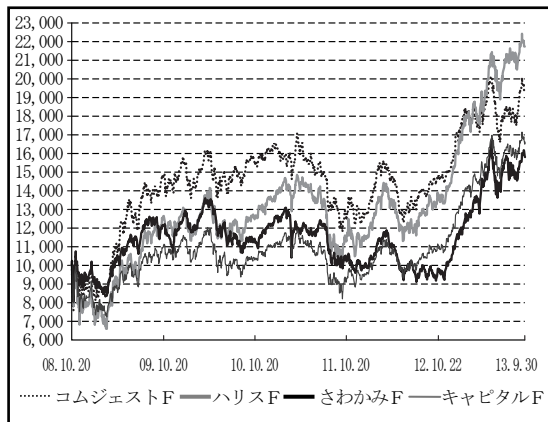


図3 組入ファンドの相対パフォーマンス(インデックスとの比較)

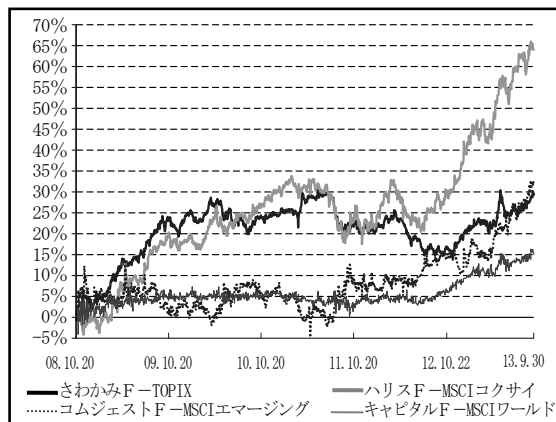


図4 組入ファンド別組入比率推移

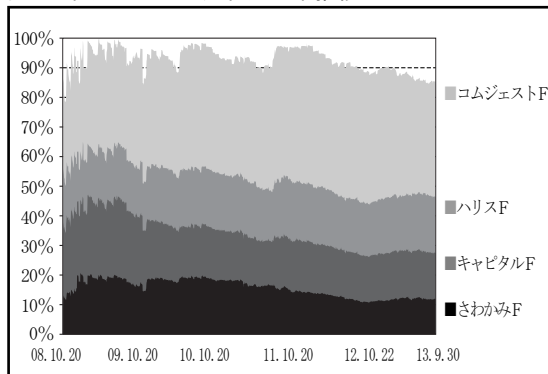


図5 ユニオンファンドの組入比率と基準価額推移

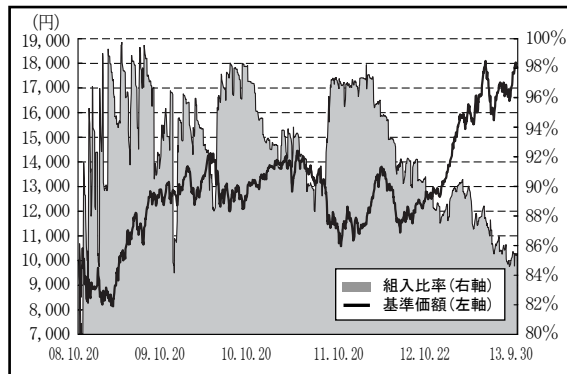
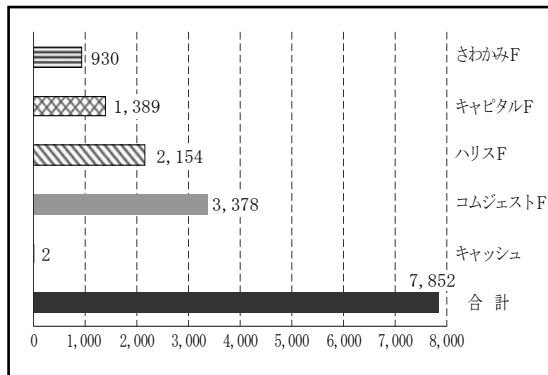


図6 組入ファンドの基準価額への累積寄与額(円、概算値)



- ・キャピタルFは、キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドクラスAの略称です。
- ・ハリスFは、ALAMCO ハリス グローバル バリュース株ファンド2007の略称です。
- ・コムジェストFは、ニッポンコムジェスト・エマーゼングマーケットツ・ファンドSAの略称です。



## ■今後の運用方針について

次のような方針で臨みます。

- ① 引き続き「グローバル」な視点で投資していきます。  
マクロ要因を的確に分析・予測し、世界各地域への投資配分を柔軟に変更・対応していきます。
- ② 当面、現在の組入れ 4 ファンドに投資していきますが、他の組入候補ファンドにも目配りをしていきます。
- ③ 組入比率については、引き続き柔軟に対応していきます。

## ■分配金について

当ファンドの基準価額は決算日現在で 17,852 円（1 万口当り）でしたが、分配を行わないことが今後の安定的な運用につながると判断し、第 5 期は無分配とさせていただきました。

(分配原資の内訳) (単位:円、1万口当たり・税引前)

	当期
当期分配金	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—

(注)金額は各項目ごとに円未満切捨てで表記しておりますので、表中の個々の数値の合計が合計欄と一致しないことがあります。

翌期繰越分配対象額	7,852
-----------	-------

(注)金額は円未満切捨てで表記しております。

## ■直接販売状況

当期末の全口座件数は 1,708 件（前期末比+29.7%、内法人 2 件）になりました。また、「定期定額購入サービス」ご利用のお客様件数は全体の 75.1%にあたる 1,283 件（前期末比+32.0%）になりました。

「新規口座開設」、及び「定期定額購入申込」の年代別前期末比較は次のとおりです。

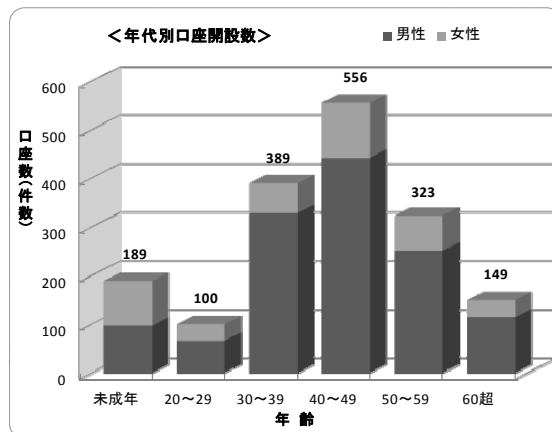
新規口座開設（前期末比）				定期定額購入（前期末比）			
60歳超	+71.3%	30歳代	+16.5%	60歳超	+72.2%	30歳代	+19.2%
50歳代	+47.5%	20歳代	+44.9%	50歳代	+55.1%	20歳代	+64.2%
40歳代	+25.5%	未成年	+16.0%	40歳代	+29.7%	未成年	+13.7%

当期の特徴は、前期に引き続き高齢者層（50歳代と60歳超）の「新規口座開設」と「定期定額購入サービス」のご利用率が高かったことに加え、20歳代の「新規口座開設」と「定期定額購入サービス」のご利用率が大きく上昇したことです。

高齢者層のご利用率上昇は、“世界の経済成長”を享受するための“資産配分の見直し”をされ、“資産防衛”のために“日本円資産偏重リスク”を回避する行動の表れではないかと思えます。

一方、20歳代のご利用率上昇は、将来を見据えて資産運用の必要性をご理解され、「長期投資」に“一歩”を踏み出された結果だと思えます。

「定期定額購入サービス」は当期末も高いご利用率を維持しております。“現役世代”（30歳代から60歳未満）が「定期定額購入サービス」ご利用者全体の75.4%を占めています。“時間のパワー”を大いに利用できる20歳代以下（未成年者を含む）のご利用者数も増加しております。毎月の引落とし金額は、一件あたり平均20,553円となっています。



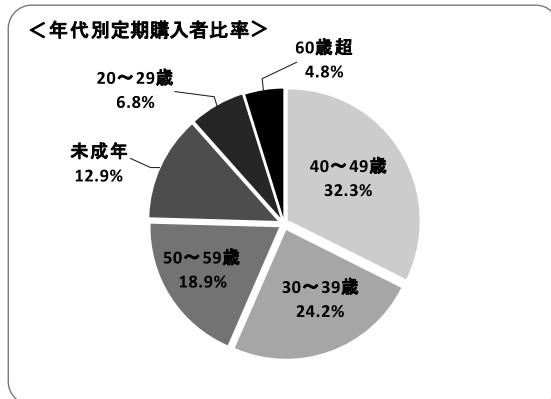
年代別平均引落金額は次のとおりです。

年代別引落額平均（月次）（単位：円）			
60歳超	31,209	30歳代	19,713
50歳代	25,739	20歳代	15,827
40歳代	21,966	未成年	9,530

※増額月は含んでいません。

雇用制度や年金・医療などの社会保障制度への先行き不安は年々高まりつつあります。国や企業だけに頼るのは大変難しく、「老後の生活の安心」を得るために自ら積極的に資産運用を行うことが以前よりも重要となっています。預貯金だけに置いておくのではなく、金融資産の一部を「長期投資」、「世界分散投資」、「積立投資」で運用することは、どの年代層においても必要なことと考えます。

「ユニオンファンド」は、主に個人家計の資産形成をお手伝いすることを主眼としています。当社はこれからもお客様と共に“長期投資の道”を歩み、“働く仲間と家族の資産づくり”に邁進して参ります。



■ 1万口（元本 10,000 円）当たりの費用明細（自 2012 年 10 月 2 日 至 2013 年 9 月 30 日）

項 目	金 額
(a) 信 託 報 酬 （ 投 信 会 社 ） （ 販 売 会 社 ） （ 受 託 銀 行 ）	131円 ( 82) ( 44) ( 5)
(b) 保 管 費 用 等	0
合 計	131

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、設定・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率

(b) 保管費用等は目論見書等の法定資料作成交付にかかる費用および監査費用などです。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■ 当期中の売買および取引の状況

● 投資信託受益証券・投資証券（自 2012 年 10 月 2 日 至 2013 年 9 月 30 日）

銘 柄	買 付		売 付	
	口 数	金 額 (円)	口 数	金 額 (円)
キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドクラス A	0	0	0	0
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンド SA	0	0	0	0
ALAMCO ハリス グローバルバリュース株ファンド 2007	0	0	0	0
さわかみファンド	0	0	0	0

(注) 金額は受け渡し代金です。また単位未満は切り捨てです。

■ 利害関係人との取引状況等（自 2012 年 10 月 2 日 至 2013 年 9 月 30 日）

期中における当ファンドにかかる利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは投資信託及び投資法人に関する法律第 11 条第 1 項に規定されている利害関係人です。

■ 第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況

当期は自社設定分を一部処分いたしました。

■ 自社による当ファンドの設定・解約状況（自 2012 年 10 月 2 日 至 2013 年 9 月 30 日）

期首残高 (元 本)	当期設定 元 本	当期解約 元 本	期末残高 元 本	取引の理由
千円 52,000	千円 -	千円 15,000	千円 37,000	自社財産の運用を目的とした一部処分

■ 組入資産の明細

● ファンド・オブ・ファンズが組入れた投資対象ファンドの明細

投資資産 の 種 類	銘 柄	当 期 末 (2013 年 9 月 30 日)		
		口 数	評 価 額 (円)	組入比率 (%)
投資証券	キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドクラスA	158,605	340,209,290	15.5
投資信託 受益証券	ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA	711,485,808	855,063,644	39.0
	ALAMCO ハリス グローバルバリュース株ファンド 2007	350,017,838	416,486,225	19.0
	さわかみファンド	158,565,897	263,076,679	12.0
合計		1,220,228,148	1,874,835,838	85.5
銘柄数				4銘柄

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の比率です。組入比率は四捨五入してあります。

(注2) 単位未満は切り捨てです。

■ 投資信託財産の構成

項 目	当 期 末 (2013 年 9 月 30 日)	
	評 価 額 (円)	比 率 (%)
投 資 信 託 受 益 証 券	1,534,626,548	69.6
投 資 証 券	340,209,290	15.4
コ ー ル ・ ロ ー ン 、 そ の 他	330,390,018	15.0
投 資 信 託 財 産 総 額	2,205,225,856	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨てです。比率は四捨五入してあります。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	当 期 末 (2013年9月30日現在)
(A) 資 産	2,205,225,856円
コール・ローン等	330,390,018
投資信託・投資証券(評価額)	1,874,835,838
(B) 負 債	11,860,839
未払解約金	3,381,493
未払信託報酬等	8,479,346
(C) 純資産総額(A-B)	2,193,365,017
元 本	1,228,617,639
次期繰越損益金	964,747,378
(D) 受 益 権 総 口 数	1,228,617,639口
1万口当たり基準価額(C/D)	17,852円

■損益の状況

項 目	当 期 自2012年10月2日 至2013年9月30日
(A) 配 当 等 収 益	86,625円
受 取 利 息	86,625
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	592,235,147
売 買 益	631,861,350
売 買 損	△ 39,626,203
(C) 信 託 報 酬 等	△ 15,252,237
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	577,069,535
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	64,680,406
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	322,997,437
( 配 当 等 相 当 額 )	( 250,603,961)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	( 72,393,476)
(G) 計 (D+E+F)	964,747,378
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	964,747,378
追 加 信 託 差 損 益 金	322,997,437
( 配 当 等 相 当 額 )	( 250,603,961)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	( 72,393,476)
分 配 準 備 積 立 金	641,749,941
繰 越 損 益 金	0

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価替えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記> (本書作成時点では監査未了です)

## ■お知らせく当期中の約款変更>

2013年1月4日付で、投資信託協会の一般社団法人への移行に伴い、所要の約款変更を行いました。

### 復興特別所得税について

2013年12月31日まで普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税7%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、10.147%（所得税及び復興特別所得税7.147%、並びに住民税3%（法人受益者は7.147%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

2014年1月1日から普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税及び復興特別所得税15.315%、並びに住民税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

なお、復興特別所得税に係る記載がされた目論見書の再交付をご希望される受益者の方につきましては、お申し出頂ければ再度送付させていただきますので、その旨を販売会社までお申し出下さい。

※税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。

## (参考資料)

### ■指定投資信託証券の運用内容

#### 1 《キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドクラスA (ルクセンブルグ籍円建外国投資法人)》

(半期決算日：2013年6月30日) 計算期間：2013年1月1日～6月30日

※当運用報告書作成日現在、公表されている決算報告書は2013年6月末の半期決算報告書であり、その報告書からの抜粋となります。

#### ◇国別構成比率

As at 30 June 2013	%
United States	52.9
Japan	8.0
United Kingdom	6.5
Switzerland	6.4
France	5.2
Netherlands	3.5
Hong Kong	3.0
Canada	2.1
Other	9.7
Cash and Equivalents	2.8
<b>Total</b>	<b>100.0</b>

#### ◇資産、負債、元本及び純資産の状況

As at 30 June 2013	
<b>Assets</b>	
Investments at market value	€477,066,711
Cash at bank	13,224,083
Dividend and interest receivable (net of withholding taxes)	647,629
Receivable for fund shares subscribed	3,384
Receivable for investments sold	744,532
Prepaid expenses and other receivables	431,851
Unrealised gain on forward foreign exchange contracts	550
Unrealised gain on hedged share class forward foreign exchange contracts	—
<b>Total assets</b>	<b>492,118,740</b>
<b>Liabilities</b>	
Payable for investments purchased	1,021,603
Payable for fund shares redeemed	65,065
Unrealised loss on hedged share class forward foreign exchange contracts	—
Bank overdraft	—
Accrued expenses and other payables	291,706
Management fee payable	95,233
Unrealised loss on forward foreign exchange contracts	—
<b>Total liabilities</b>	<b>1,473,607</b>
<b>Total net assets</b>	<b>€490,645,133</b>
<b>Investment securities at cost</b>	<b>€379,532,229</b>



## ◇損益の状況

For the six months ended 30 June 2013

<b>Income</b>	
Dividend income (net of withholding taxes)	€5,651,823
Interest on bonds and convertible bonds (net of withholding taxes)	—
Interest on bank accounts and time deposits	—
Other income	—
	<b>5,651,823</b>
<b>Expenses</b>	
Management fees	623,477
Administrative Manager services	211,751
Professional services	150,624
Taxe d'abonnement	42,224
Custody	43,870
Other	47,770
Printing and publishing	35,082
	<b>1,154,798</b>
Reimbursement of expenses	124,422
<b>Net investment income/(loss) (a)</b>	<b>4,621,447</b>
Net realised gain/(loss) on:	
Sale of investments	17,572,091
Foreign currency transactions	(174,410)
<b>Net realised profit/(loss) for the period (b)</b>	<b>17,397,681</b>
Net change in unrealised appreciation/(depreciation) on:	
Investments	28,373,076
Foreign currency transactions	30,287
<b>Net change in unrealised appreciation/ (depreciation) for the period (c)</b>	<b>28,403,363</b>
<b>Result of operations for the period (a+b+c)</b>	<b>50,422,491</b>
<b>Dividend distribution</b>	<b>(104,579)</b>
Net subscriptions/(redemptions) of shares for the period	(32,510,510)
Total net assets at the beginning of the period	472,837,731
<b>Total net assets at the end of the period</b>	<b>€490,645,133</b>

2 《ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA（適格機関投資家限定）》  
第5期（決算日：2012年12月25日）計算期間：2011年12月27日～2012年12月25日

■1万口（元本10,000円）当たりの費用の明細

項 目	金 額
(a) 信託報酬 （投信会社） （販売会社） （受託銀行）	89円 (53) (27) (9)
(b) 売買委託手数料 （株 式）	13 (13)
(c) 有価証券取引税 （株 式）	3 (3)
(d) 保管費用等	20
合 計	125

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率

(b) 売買委託手数料、(c)有価証券取引税、(d)保管費用等は、期中の各金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税および保管費用等は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

■組入資産の明細

◎親投資信託残高（2012年12月25日現在）

項 目	期首（前期末）	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ニッポンコムジェスト・エマージング マーケット マザーファンド	千口 3,085,325	千口 3,000,391	千円 3,017,194

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

■損益の状況（自 2011 年 12 月 27 日 至 2012 年 12 月 25 日）

項 目	当 期
(A) 配 当 等 收 益	3,000円
受 取 利 息	3,000
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	590,155,440
売 買 益	623,282,186
売 買 損	△ 33,126,746
(C) 信 託 報 酬 等	△ 30,124,249
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	560,034,191
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△306,753,123
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△377,997,721
（ 配 当 等 相 当 額 ）	（ 256,344,354 ）
（ 売 買 損 益 相 当 額 ）	（ △634,342,075 ）
(G) 計 （D+E+F）	△124,716,653
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△124,716,653
追 加 信 託 差 損 益 金	△377,997,721
（ 配 当 等 相 当 額 ）	（ 256,678,849 ）
（ 売 買 損 益 相 当 額 ）	（ △634,676,570 ）
分 配 準 備 積 立 金	299,074,060
繰 越 損 益 金	△ 45,792,992

（注）損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

（注）損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

（注）損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

（注）計算期間末における費用控除後の配当等収益（43,334,171円）、費用控除後の有価証券等損益額（0円）、信託約款に規定する収益調整金（256,678,849円）および分配準備積立金（255,739,889円）より分配対象収益は555,752,909円（10,000口当たり1,768円）ですが、当期に分配した金額はありません。

当ファンドが主要投資対象としているニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンドは、外貨建て資産の運用の指図権限をコムジェスト・エス・エーに委託しております。その費用として、委託者報酬のうち、運用権限委託契約に定められた報酬額を支払っております。

■ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド 組入状況（2012年12月25日現在）  
組入上位10銘柄

順位	銘柄名	M S C I 業 種 分 類	国 名	組入比率
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	情報技術	台湾	4.8%
2	HEINEKEN NV	生活必需品	オランダ	4.1%
3	CHINA LIFE INSURANCE	金融	中国	3.6%
4	PING AN INSURANCE	金融	中国	3.6%
5	TENARIS SA-ADR	エネルギー	アルゼンチン	3.1%
6	BUNGE LTD	生活必需品	アメリカ	3.0%
7	WEG SA	資本財・サービス	ブラジル	2.9%
8	WALMART DE MEXICO-SER V	生活必需品	メキシコ	2.9%
9	SAMSUNG LIFE INSURANCE	金融	韓国	2.8%
10	BHARAT HEAVY ELECTRICALS	資本財・サービス	インド	2.8%

（注）国の別はコムジェスト・エスエー社の判断に基づいて分類しております。

## 業種別構成比率

MSC I 業種分類	構成比率
生活必需品	27.2%
情報技術	15.4%
資本財・サービス	11.4%
金融	11.2%
電気通信サービス	11.1%
素材	8.0%
エネルギー	4.8%
一般消費財・サービス	4.2%
ヘルスケア	1.9%
公益事業	1.9%
	97.2%

## 国別構成比率

国名	構成比率
ブラジル	18.9%
中国	14.0%
南アフリカ	10.0%
ロシア	8.5%
インド	6.5%
韓国	5.0%
メキシコ	4.9%
台湾	4.8%
オランダ	4.1%
アルゼンチン	3.1%
アメリカ	3.0%
マレーシア	2.2%
イギリス	2.2%
オーストラリア	2.1%
ポーランド	2.0%
トルコ	2.0%
チリ	1.9%
ウクライナ	1.9%
	97.2%

(注) 国の別はコムジェスト・エスエー社の判断に基づいて分類しております。

### 3 《ALAMCO ハリス グローバル バリュース株ファンド 2007（適格機関投資家専用）》

第6期（決算日：2013年3月11日） 計算期間：2012年3月10日～2013年3月11日

#### ■1万口（元本10,000円）当たりの費用の明細（2012年3月10日～2013年3月11日）

項 目	金 額
(a) 信託報酬 （投信会社） （販売会社） （受託銀行）	103円 ( 80) ( 17) ( 6)
(b) 売買委託手数料 （株 式）	5 ( 5)
(c) 有価証券取引税 （株 式）	1 ( 1)
(d) 保管費用等	4
合 計	113

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。(各項目ごとに円未満は四捨五入) なお、売買委託手数料、有価証券取引税および保管費用等は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みません。

(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率

(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数。

(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数

(d) 保管費用等＝期中の保管費用等÷期中の平均受益権口数

#### ■組入資産の明細

◎親投資信託残高（2013年3月11日現在）

種 類	期首（前期末）	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ALAMCO ハリス グローバル バリュース株 マザーファンド	千口 13,096,702	千口 3,872,688	千円 4,178,631

(注) 単位未満は切り捨て。

■損益の状況（自 2012 年 3 月 10 日～至 2013 年 3 月 11 日）

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	43,186円
受 取 利 息	43,186
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	1,176,051,273
売 買 益	1,782,388,087
売 買 損	△ 606,336,814
(C) 信 託 報 酬 等	△ 63,482,889
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	1,112,611,570
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 130,530,479
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 961,376,049
（ 配 当 等 相 当 額 ）	（ 114,647,668 ）
（ 売 買 損 益 相 当 額 ）	（ △1,076,023,717 ）
(G) 計 ( D + E + F )	20,705,042
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	20,705,042
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 961,376,049
（ 配 当 等 相 当 額 ）	（ 114,696,955 ）
（ 売 買 損 益 相 当 額 ）	（ △1,076,073,004 ）
分 配 準 備 積 立 金	982,081,091

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 投資信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託する場合における当該委託に要する費用は29,523,618円となります。

(注5) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(66,695,717円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券等損益額(876,517,826円)、信託約款に規定する収益調整金(114,696,955円)および分配準備積立金(38,867,548円)より分配可能額は1,096,778,046円(1万口当たり2,635円)でありましたが、当期は分配を行いませんでした。

■ALAMCO ハリス グローバル バリューストックファンド 組入状況（2013年3月11日現在）

組入上位10銘柄

順位	銘柄名	組入比率
1	CREDIT SUISSE	4.9%
2	INTEL CORP	4.4%
3	STARWOOD HOTELS & RESORTS	3.9%
4	DAIMLER AG-REG	3.8%
5	ALLIANZ SE	3.8%
6	PPR	3.7%
7	ADECCO SA-REG	3.5%
8	FIAT INDUSTRIAL	3.5%
9	KUEHNE & NAGEL	3.4%
10	JULIUS BAER GROUP	3.4%

組入上位10業種

順位	業 種 名	組入比率
1	各種金融	14.2%
2	銀行	9.3%
3	資本財	7.7%
4	半導体・半導体製造装置	7.7%
5	自動車・自動車部品	7.0%
6	素材	6.9%
7	ソフトウェア・サービス	6.9%
8	食品・飲料・タバコ	6.7%
9	小売	6.0%
10	保険	5.9%

(注) 組入比率は純資産総額に対する比率、業種はGICS（世界産業分類基準）に基づく24産業グループです。

#### 4 《さわかみファンド》

第14期（決算日2013年8月23日）計算期間：2012年8月24日～2013年8月23日

##### ■ 1万口（元本10,000円）当たりの費用明細

項 目	金 額
(a) 信託報酬 （投信会社） （販売会社） （受託銀行）	136円 (75) (47) (14)
(b) 売買委託手数料 （株 式）	1 (1)
合 計	137

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率

(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

##### ■ 組入資産の明細

株式組入上位10銘柄（2013年8月23日現在）

順位	銘柄コード	銘柄名	業種名	組入比率 (%)
1	7203	トヨタ自動車	輸送用機器	5.90
2	5108	ブリヂストン	ゴム製品	4.31
3	7011	三菱重工業	機械	2.95
4	6902	デンソー	輸送用機器	2.52
5	4452	花王	化学	2.52
6	9104	商船三井	海運業	2.16
7	4063	信越化学工業	化学	2.04
8	5332	TOTO	ガラス・土石製品	2.03
9	6367	ダイキン工業	機械	1.97
10	6752	パナソニック	電気機器	1.95

(注) 比率は8月23日現在における純資産総額比です。

■損益の状況（自 2012 年 8 月 24 日 至 2013 年 8 月 23 日）

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	4,408,324,497円
受 取 配 当 金	4,401,853,452
受 取 利 息	954,331
そ の 他 収 益 金	5,516,714
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	93,810,729,284
売 買 益	105,051,405,999
売 買 損	△11,240,676,715
(C) 信 託 報 酬 等	△ 2,724,061,578
(D) 当 期 損 益 金 ( A + B + C )	95,494,992,203
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△59,784,901,036
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	67,068,691,223
( 配 当 等 相 当 額 )	( 116,989,142,923)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	(△49,920,451,700)
(G) 合 計 ( D + E + F )	102,778,782,390
(H) 収 益 分 配 金	—
次 期 繰 越 損 益 金 ( G + H )	102,778,782,390
追 加 信 託 差 損 益 金	67,068,691,223
( 配 当 等 相 当 額 )	( 116,989,142,923)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	(△49,920,451,700)
分 配 準 備 積 立 金	45,632,086,752
繰 越 損 益 金	△ 9,921,995,585

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。